

企業現場見学会 2022 実施企業を募集します

産学交流委員会 人材交流小委員会

はじめに

産学交流委員会 人材交流小委員会では学生会員と法人会員をつなぐ場として『企業現場見学会』を実施しています。本稿では2022年の実施企業を募集します。

『企業現場見学会』の対象と特徴

化学産業は日本を支える重要な産業です。実際、2019年の化学産業の付加価値額18兆円は日本の産業界で1位、研究費2.6兆円は輸送用機械器具に次いで2位の位置にあります。

このような化学産業の現場である工場や研究所を見学し、さらにそこで働く企業の方と交流する機会を持つことは、化学分野の研究者、技術者を志す学生にとって、進学や就職を考える上での重要な判断材料となることは間違いありません。一方、企業にとっても、自社の特徴や魅力、研究活動の様子を学生に直接、単なるイメージではなくリアルに五感で印象づけることができることは非常に有意義に違いありません。そこで、学生と企業の双方をつなぐ場として『企業現場見学会』を実施しております。本企画の実施により、企業と学生との交流はもちろんのこと、参加した学生会員同士の交流の促進につながることを期待します。

参加学生の内訳やコメント

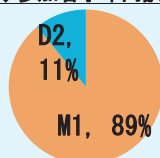
昨年度は、9月8日と27日に、2社においてオンラインで実施され、約50名の学生が参加しました。参加した学生は博士課程の学生(M1, D2)であり、ほぼすべての学生から「大満足・満足」の評価をいただきました。また、「ほかでは見ることができない、ほかの見学会と違う」と感じた点をアンケートで聞いたところ、次のような意見がありました。「実

際の施設の様子をカメラで撮影しながら説明していただいたため、本当に工場見学をしているようでした」、「就職サイトのような企業説明会とは異なり日本化学会が主催であるからこそ、研究内容に特化した企業説明を見ることができたため就職後のビジョンをイメージすることができた」、「みんな化学専攻ということもあってか比較的専門的な研究の話が聞くことができた点が、日本化学会で開催されるイベントに参加するメリットだと感じた」、「一般的な企業説明会では企業の概要にさく時間が多いのに対して、今回は研究開発の内容についても講演などから知ることができた点が、今回ならではの点だと思います」、「社員さんがたくさんいらして、様々な方の意見を聞くことができた点がほかとは違うと感じました」、「インターンシップのときは異なるメンバーで対応してもらえたことにより、社員が働く姿をよりイメージしやすくなった」。

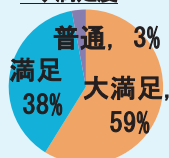
開催報告の詳細は下記のウェブページを参照下さい。

URL: <https://www.chemistry.or.jp/activity/industry-university/past.html#gmb>

◇参加者学年内訳



◇満足度



◇参加者の所属一覧(順不同)

〔国公立〕阪大、千葉大、北大、京工繊大、京大、お茶大、東北大、東工大、九大、岐阜大、秋田大、山梨大、北陸先端大、東大、静岡大
〔私立〕中大、青山学院大、東理大、近大、東電大

募集要項

開催時期：8月末～10月初旬のうち1日をご指定下さい(指定期間外を希望される場合はご相談下さい)。

募集対象企業：本会法人会員であり、見学受入れ協力が可能な企業。

実施内容：学生会員を対象とした半日程度の工場や研究所の見学会(現地開催とオンライン開催のいずれかを選択できます)の実施。

※見学会の内容および最小・最大催行人数は各社で自由に設定いただけます(見学に限らず研究所長による講演や若手社員との座談会・意見交換会など)。

※現地開催の場合は、参加する学生会員は現地集合、現地解散を原則とします。

※当日の運営や開催報告記事用の写真撮影などは各社でお願いします。

※本会職員は当日現地には赴きません。

参加対象者：本会学生会員に限る。

申込方法：本会ウェブサイトより。

申込締切：5月16日(月)

事務手続き手数料：110,000円(税込み)

事務手続き手数料に含まれるもの：

- 周知・広報
 - ・会員宛メール配信
 - ・開催情報掲載(ウェブサイト、会誌)
- 参加登録管理
 - ・参加者受付サイトの作成、管理
 - ・参加者名簿の作成
 - ・参加者への案内
- 報告
 - ・開催報告記事掲載(ウェブサイト、会誌)
 - ・アンケートの実施、取りまとめ

おわりに

会員各社様からの現場見学の提案をお待ちしております。また本企画へのご要望も受けたくまわります。

E-mail: sangaku@chemistry.or.jp

〔産学交流委員会人材交流小委員会
委員長 高村岳樹(神奈川工科大)、
副委員長 矢作和行(花王株式会社)〕

© 2022 The Chemical Society of Japan